



MARI & MAITO with D

『珍しい 男女Wボーカルの ボサノバ DUO 誕生!』

ナナマリ (Vocal, Guitar) 舞音 Maito (Vocal, Bandoneon, Contrabass)

ダン本多 (Produce, Synthesizer) 【ジョビン&ピアソラ研究所】

2026 Spring Tour Vol.2

- 4/10** CANVAS (長野・飯田) 【限定30名】
(金) 18:30 Open/19:00 Start 予約 3000円/当日 3500円 (+1drink order)
長野県飯田市知久町2-1 熊谷ビルB1 tel 090-3587-9401
- 4/11** CAFE PLAT (長野・箕輪町) 【限定35名】
(土) 13:00 Open/14:00 Start 予約 3000円/当日 3500円 (+1drink order)
長野県上伊那郡箕輪町中箕輪7925-1 tel 090-3343-4151 (川島)
または 0265-93-1005
- 4/13** OTO Asobi (東京・町田) 【限定30名】
(月) 18:30 Open/19:30 Start 予約 3000円/当日 3500円 (+1order)
東京都町田市原田町6-15-16 (1F) 小田急線 町田駅 東口 徒歩30秒!
tel 070-4750-1735 (OTO Asobi)
- 4/14** Megusta (神奈川・関内) 【限定18名】
(火) 18:30 Open/19:30 Start 予約 3000円/当日 3500円 (+2order)
神奈川県横浜市中区常磐町6-74 tel 045-228-8869

【ご予約・お問い合わせ】ナナマリHP予約フォーム <https://nanamari.com/live> ⇒
または 各店舗までお願いいたします



Profile



nanamari Insta.

ナナマリ (Vocal, Guitar, Composer)

ボサノバギター弾き語り、シンガーソングライター。埼玉県・草加市出身。

現在は標高約1000m、山梨と長野の県境にあるハケ岳の森に暮らしながら、

音楽活動を行う。ナナマリの「ナナ」は、ナナフシという昆虫を飼育していたことがきっかけで命名。高校生の時に入部した軽音楽部でギターと出会い、ロックやポップスバンドを組んで音楽活動をスタート。独学で音楽理論を学び、TV番組や舞台、メジャーアーティストなどへの楽曲提供を行う。

2004年に山梨へ移住後は、サンバの流れを汲む独特のリズムとギターハーモニーに魅了され、ブラジル音楽に傾倒する。並行してオリジナル曲の制作にも力を注ぎ、ギター弾き語りスタイルでライブ活動を行う。

また、音響エンジニア、レコーディングエンジニアとして、他アーティストのコンサートやアルバム制作を手掛ける。



Maito Insta.

舞音 Maito (Vocal, Bandoneon, Contrabass)

2000年生まれ。東京都・町田市出身。麻布中高卒、東京藝術大学楽理科在籍中。

地球上の多様な音楽を理解すべく、民族音楽学を専攻。アルゼンチンタンゴへの

興味からバンドネオンの第一人者『平田耕治』氏に会い、15歳から現在まで師事。

コントラバスは中学校部活で始め、その後『吉田秀』氏に学ぶ。声楽も18歳から習い始め、表現の幅を広げるべく地元『モダンバレエ』ではダンスにも挑戦中。

2024年単身 イギリス/デンマークに渡り、ジャズ・バンドネオン奏者『PaoloRusso』氏のもとを訪い、大いに刺激を得た。バンドネオンを用いた様々な音楽への可能性を探るべくジャズやシャンソン、フラメンコなど、年代やジャンルを選ばず様々なステージに参加。

共演歴/平田耕治(Bandoneon)、青柳誠(Piano)、納浩一(Bass)ほか。

ダン本多 (Produce, Synthesizer)

大学1年生の時に始めたライブハウス『六本木ピットイン』でのホール系のバイトが切っ掛けで、機械が好きだった事もあり、チーフ・エンジニアが不在の時に音響を任される様になる。

当時六本木ピットインでは、山下達郎さんや坂本龍一さんなどがまだブレイクする前の時代、更にはチック・コリアやパット・メセニー、プレッカー・ブラザーズなど世界財産といえるミュージシャンたちが数多く出演していた。毎日毎日、日本と世界のトップミュージシャンの音を聴くうちに『音楽の凄さ』を思い知り、理工系の大学に行きながら、音楽塾メーザーハウスに通い、キーボーディスト・アレンジャー&プロデューサーの笹路正徳氏を師匠としてプロを目指す。

1年後、大江千里さんのオーディションに受かり、全国ツアーの仕事をする様になる。

当時、過渡期だったシンセサイザーの知識を武器に、とんねるず、ドリカムなどの仕事を経て、20代後半には『爆風スランプ』にメンバー扱いで加入する。30歳の春、爆風スランプが1年間の休業宣言をしたタイミングでバンドを抜け、引退を決意し、音楽制作会社を起業。現在に至る。



M&M公式LINE登録